

## 被害防止のご案内「鞆等の持ち方について」

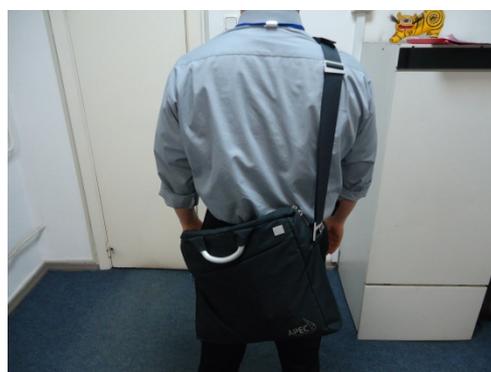
平成26年7月14日

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

当地ではスリ等の犯罪被害が頻繁に発生しています。スリ等の被害に遭わないように以下を参考にして、鞆や貴重品の携帯方法・持ち方を工夫することをお勧めします。

### 1 犯罪被害に遭い易い鞆の持ち方

#### (1) 肩掛け鞆



肩掛けの鞆を後方又はお尻の前に掛けることは非常に危険です。混雑した路上やバス車内では、チャックを開けられて貴重品を取られる事件が多発しています。

#### (2) リュックサック



リュックサックを背負っていると、混雑している場所では、スリ等が後ろからチャックを開けても気づかないことが大半です。リュックサックに貴重品を入れるのは止めた方がいいです。

### (3) 首からぶら下げた貴重品袋



パスポート、財布、スマートフォン等を首からぶら下げた貴重品袋に入れて、服の外に出したまま、出歩いている人を見かけますが、非常に危険です。

ヒモを切断して盗まれる場合が多く、貴重品がどこにあるか回りを見せているのと同じことですので、貴重品袋をぶら下げた状態で出歩くことはしないでください。

## 2 被害を防止する鞆等の持ち方

### (1) 肩掛け鞆を腕で押さえて歩く



しっかりと肩から袈裟懸けに鞆を掛け、片方の手でストラップを押さえ、もう一方の手で、鞆のファスナー部分を押さえます。

(2) 貴重品袋は服の下に装着し、周りから見えないようにする。



パスポート等の入った貴重品袋は、服の外には出さず、周りから見えないように服の下に装着することが重要です。

(3) その他の貴重品の結着



貴重品の盗難を防止するために、鍵にはヒモやリードコイルを付けてベルトなどに結びつけるのが効果的です。

この他にも、リードコイルなどの日本の100円ショップで購入できるものを使い、カードケース、スマートフォンケース、ミニポーチ等に付けてベルトや鞆に結びつけることで、盗難防止の有効な手段となります。